

(令和2年5月試験研究業務月報)

試験研究課題名：強樹勢台木の接ぎ木による賀茂ナス果実の高品質・高付加価値化技術の確立

研 究

賀茂ナスの艶なし果対策の試験を開始

京のブランド産品の一つである賀茂ナスは、夏期に根の吸水能力が低下し、艶なし果が発生することが問題となっています。

そこで当センターでは、昨年度まで吸水能力が高いなどの特徴をもつ台木^{※1}品種の選定を行ってきました。今年度はそれに加え、葉からの蒸散を減らし、果実へより多くの水分を供給するため、枝の数を減らした栽培試験を進めています。

5月上旬に、賀茂ナスの接ぎ木苗を露地ほ場に定植しました。今後は試験区ごとに枝の数を減らしてせん定し、収量や艶なし果の発生状況などを調べてその効果を検証します。

※1 台木：ナス科などの野菜では、土壌伝染性の病害や低温、高温への対策として、それらに強い特性を持つ植物や品種に接ぎ木して栽培します。この時、根部側の植物や品種を台木といいます。



定植の様子



枝を減らす試験区（奥）と慣行の枝数の試験区（手前）
面積当たりの枝数をそろえるため、
枝を減らす試験区の株間は短い。

農 林 セ ン タ ー